

教育ボランティア 後期学生交流会

平成22年12月15日(水)後期学生交流会が開かれました。

数人の学生と先生方が集まり、教育ボランティアをしている中で子ども達との接し方で困ったことなどを発表し、それについて学生同士で話し合いをしました。

今回は英語教育専修・長田翼さんと技術教育専修・小池健夫さんによる教育ボランティア体験発表も行なわれました。



小池さん:教育ボランティアは、教育実習以外の場面で授業に入らせていただくことのできる貴重な機会です。子どもたちの姿を様々な角度から見つめたり、授業作りを学んだり、多くのことを学ぶことができます。



長田さん:教育ボランティアでは、中学生が対象の自学講座で学生チューターをしています。子どもたちの中には、勉強になかなか集中することができない子もいます。学習に集中できない子ども達にはどのような声かけが適切なのか考えさせられています。



話し合いでは具体的にこんなことが議題となりました。

- ・授業中、クラスのみならず同じ活動をしようとする子に対してどのように対処したらよいか。
- ・自主学習に集中することのできない生徒に対してどのように対処したらよいか。
- ・ボランティアとしてどこまで授業に介入してよいか。

○これらの話し合いの結果、ボランティアの学生はもっと積極的に担任の先生や子ども達と関わっていても良いのではないかな等の結論に行き着きました。

*しかし、あくまでボランティアをさせていただいているという気持ちは忘れてはいけません。



☆急募☆

学生教育ボランティア運営委員会では、来年度に向けて委員を募集しています!!教育ボランティアに興味のある人大歓迎いたします!やってみたいという方はJ号館F4教育実践センターへGO!!

☆お願い☆

学生交流会に是非参加して下さい!!
日頃ボランティアで悩んでいることを学生同士や、教育実践センターの先生方に相談できる良い機会として利用して下さい。